

令和2年度 入域料特別会計予算について

1. 歳入

(単位：円)

款	項	目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較	備考
1	負担金	1 負担金	438,000	758,000	△320,000	市より入域料本格導入支援費
2	協力金	1 協力金	1,000,000	4,500,000	△3,500,000	500円×2,000名
3	繰越金	1 繰越金	1,887,804	1,460,277	427,527	R元 入域料
4	諸収入	1 諸収入	196	723	△527	利息等
合 計			3,326,000	6,719,000	△3,393,000	

2. 歳出

(単位：円)

款	項	目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較	備考
1	1	会議費	199,000	258,000	△59,000	委員謝金、費用弁償
	2	事務費	150,000	100,000	50,000	収受に係る消耗品、備品等
	3	広告費	80,000	150,000	△70,000	告知チラシ等
2	1	事業費	2,325,000	3,627,000	△1,302,000	ライチョウ生息環境保全事業 (R1 入域料充当) 940,000
						登山道整備事業 (R1 入域料充当) 940,000
						収受員賃金 147,000
						現地管理費(燕・新赤倉) 158,000
						協力者記念品 140,000
2	繰越 事業費	1 繰越 事業費	555,000	2,520,000	△1,965,000	
3	予備費	1 予備費	17,000	64,000	△47,000	
合 計			3,326,000	6,719,000	△3,393,000	

1. 事業費については、冬期間の積雪により年度内の事業執行が困難であることから、令和元年度の入域料を本年度充当して執行し、本年度の入域料は次年度の事業に充当する。
2. 新型コロナウイルスの影響により、登山客が大幅に減少することが予想されることから、必要経費の削減を図るため、三つの登山口とも協力金箱を中心とした収受方法とする。